

滝野川第五小学校 かいちく 改築レター

2号
令和7年10月

第2回 新築基本設計検討会を開催しました 令和7年8月29日

北区では、令和12年9月の開設を目指し、滝野川第五小学校の改築事業を進めています。
令和7年8月29日、第2回「滝野川第五小学校新築基本設計検討会」を開催しました。
改築レター第2号では、その様子をお伝えします。

① 整備コンセプトの素案を検討しました。

新しい滝五小をどんな校舎にしたいか、学校づくりの方針やテーマを「整備コンセプト」としてまとめていきます。

これまでの改築校のコンセプト例

王子第一小：みんながつながり みんなで育つ 王一小
滝野川紅葉中：「ひかり」のある学校
稲付中：「稲付」の輪を育む学校

前回の検討会では、滝野川第五小学校から連想されるキーワードを話し合いました。今回は、それらを紡いで整備コンセプトの素案を出し合いました。

次回検討会で、素案をもとに整備コンセプトを決定していきます。

滝野川第五小学校キーワード（第1回検討会より）

ふるさと 繋ぐ 開かれている 開放感 続いていく 明るい 楽しい
飛び出す 親しみやすい きらきら 集まる 元気 自分だけの場所
防災 愛されている



整備コンセプト素案

3グループそれぞれから提案された素案がこちらです。新しい滝五小の校舎や、子どもたちへの思いがこもったコンセプト案ができました。これらの案をもとに、1つのコンセプトを作成していきます。

集い 繋がりのびのび育て 滝五の子

明るく ひらかれた みんなの^{ふるさと}学び舎

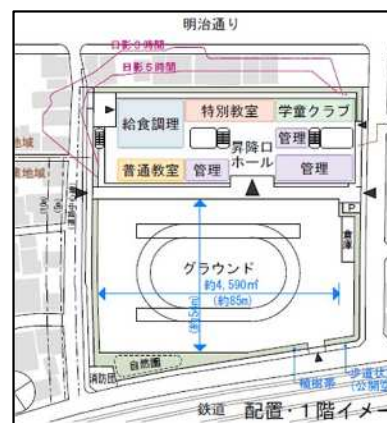
未来に 開かれた 明るい学校



② 校舎の位置や全体のつくりについて検討しました。

第1回検討会では、敷地内のどの位置に学校を建てるか、設計事務所から3つの配置案が提示され、それぞれを比較して意見を出し合いました。その結果、右図のC案（北側配置・I字型4階建て）が選ばれました。

▼第1回検討会で選ばれたC案



第2回検討会では、C案をより深めて検討するため、

1. C案をブラッシュアップしたC-2案（北側配置 I字型・4階建て）
2. C案の気になる点を解消することができる、対案としてのD案（北西側配置 L字型・3階建て）

を設計事務所から提示し、それぞれを比較して意見を出し合いました。

現状	C-2案 北側配置（I字型・4階建て）
明治通り 給食 管理 学童クラブ 125mトラック グラウンド 約3,590㎡ (約63m) 遊具スペース 特別 自然園 プール 鉄道 配置・1階イメージ 2階 3階 各階イメージ	明治通り 日影3時間 日影5時間 学童クラブ 特別教室 給食調理 管理 昇降口 ホール 管理 普通教室 125mトラック グラウンド 約4,640㎡ (約83m) 自然園 遊具スペース 鉄道 配置・1階イメージ 2階 3階 4階 R階 各階イメージ C案から校舎の配置は変えず、主に諸室の配置を変更しています。

比較検討ポイント	
校門の位置	東側、西側。（その他に給食用搬入口とグラウンド管理通用口を想定。）
普通教室の設置階、向き	1～4階に配置。全て南南西向き。
特別教室の設置階、向き	1～3階に配置。全て北北東向き。
体育館・プールの配置	体育館は2階に配置。プールは屋上に配置。（日除け庇と目隠し壁を検討。）
校舎内の移動距離	フロア移動は最大4層。フロア毎の水平移動距離はどの教室も短い。
非常時の避難経路	昇降口を広く確保。複数の階段で動線を分散。校舎1階の東西端に避難口を確保。
セキュリティ(管理室から校門等への見通し)	職員室は1階に配置。管理諸室から校庭や東西の校門に目が届きやすい。
校舎内の環境(採光・通風)	校舎の中央に吹抜けと光庭を設けて採光・通風に対応。
グラウンドの広さ	まとまって確保できる広さが現状より約1,050㎡広い。
グラウンドの陽当り	陽当りがよい。外周の並木と自然園で日射を抑制。
緑地の確保	グラウンド周囲に緑地スペースを確保しやすい。自然園は南西側に配置。
騒音(鉄道・道路)の影響	どの教室も鉄道から離れる。普通教室が鉄道、特別教室が明治通りと正対する。
周囲への影響(圧迫感・日影)	校舎の4階と体育館を南側にセットバック。北西側～北側に影が生じる。
周囲への影響(声・音・光)	校舎配置が現状と変わるため、特に西側近隣に対して検討を要する。

D案は、C-2案の気になる点を解消できる案として作成しました。C-2案を採用する場合、気になる点をどのように解消するかが課題となります。一方、C-2案の良い点とD案を比べると、D案の気になる点がわかります。C-2案の良い点・気になる点を改めて浮き彫りにし、より具体的な配置検討を行いました。

C-2案	D案	C-2案	D案
気になる点	気になる点の解消	良い点	気になる点
・4階建てのため階の移動時の負担が大きい ・校舎の配置が現状と変わるため、西側近隣の音や光の影響も変わる ・明治通り側の高層階からプールへの視線が気になる	・3階建てのため移動時の負担が小さい ・現状と同じ形のため近隣の音や光の影響も大きく変わらない ・プールが線路側に近い配置となり、視線の影響を軽減できる	・グラウンド面積が広い ・同じフロアでの移動距離が短い ・西と東に校門があり登校しやすい	・現在のグラウンドより広いが、C-2案より狭い ・同じフロアでの移動距離が長い ・西側から登校する児童が南側の門へ回り込む必要がある



検討のまとめ

検討委員の特に気になる点

- ・西側近隣へ音や光が漏れるのでは
- ・4階までの移動

ベースとなるC-2案の気になる点について、改めて理解を深めました。

D案との比較により、C-2案の良い点について再認識することができました。

検討委員が特に良いと思う点

- ・現状やD案より広いグラウンド
- ・D案より校舎全体に光が入りやすく、明るい

気になる点について具体的な対策を行ったうえで、C-2案の配置案を採用したいということが検討委員の共通意見となりました。

次回の検討会では、C-2案をベースに気になる点の対策について設計事務所から提案する予定です。

▼比較検討ポイント以外にも、気になる点が挙がりました。

- その他 気になる点（抜粋）

 - ・屋上プールの暑さ対策、紫外線対策
 - ・どの門を正門とするか？
 - ・既存校舎には畑があるが、新校舎ではどうなるか？

③

▼こちらのお知らせを該当の保育園・幼稚園に掲示しています。



- ・改築スケジュール
- ・旧田端中学校で学習する期間について
- ・旧田端中の所在地
- ・バス通学となること
- ・新築基本設計検討会について

現在の年齢	旧田端中で学習する期間	入学時	卒業時
7年度6年生	なし	現校舎	現校舎
7年度5年生	なし	現校舎	現校舎
7年度4年生	1年間（6年生春から卒業）	現校舎	旧田端中
7年度3年生	2年間（5年生春から卒業）	現校舎	旧田端中
7年度2年生	3年間（4年生春から卒業）	現校舎	旧田端中
7年度1年生	約3年半（3年生春から6年生夏頃）	現校舎	新校舎
7年度末6歳	約3年半（2年生春から5年生夏頃）	現校舎	新校舎
7年度末5歳	約3年半（入学から4年生夏頃）	旧田端中	新校舎
7年度末4歳	約2年半（入学から3年生夏頃）	旧田端中	新校舎
7年度末3歳	約1年半（入学から2年生夏頃）	旧田端中	新校舎
7年度末2歳	約半年間（入学から1年生夏頃）	旧田端中	新校舎
7年度末1歳	なし	新校舎	新校舎

最終回

第3回 新築基本設計検討会（最終回）を以下の日程で開催いたします。
傍聴可能ですので、希望される方はお気軽に直接会場までお越しください。

内容 整備コンセプトと平面ゾーニングをまとめよう

TEL:03-3908-9277
FAX:03-3910-6885